

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ッ ト ラ ン ド  
 住 所 東 京 都 中 央 区 新 富 一 丁 目 9 番 6 号  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 瀬 守 男  
 (コード番号：3196 東証マザーズ)  
 問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 管 掌 中 澤 英 一  
 TEL. 03-3553-8885

### 東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 9 月 30 日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添えのとおりであります。

【連 結】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 26 年 12 月 期 (予想)			平成 26 年 12 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 25 年 12 月 期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	27,091	100.0	31.6	13,247	100.0	20,588	100.0
営 業 利 益	1,833	6.8	195.6	857	6.5	620	3.0
経 常 利 益	1,750	6.5	69.2	762	5.8	1,034	5.0
当 期 (四 半 期) 純 利 益	910	3.4	579.1	393	3.0	134	0.7
1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 利 益	108 円 75 銭			48 円 23 銭		16 円 48 銭	
1 株 当 た り 配 当 金	—			—		—	

- (注) 1. 平成 25 年 12 月 期 (実績) 及び平成 26 年 12 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (実績) の 1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 利 益 は 期 中 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す。
2. 平成 26 年 12 月 期 (予想) の 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 は、公 募 予 定 株 式 数 (816,500 株) を 含 め た 予 定 期 中 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す。
3. 平成 26 年 8 月 8 日 付 で 普 通 株 式 1 株 に つ き 700 株 の 株 式 分 割 を 行 っ て お り ま す が、平 成 25 年 12 月 期 の 期 首 に 当 該 株 式 分 割 が 行 わ れ た と 仮 定 し、1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 利 益 を 算 出 し て お り ま す。
4. 平成 26 年 12 月 期 の 業 績 予 想 に つ き ま し て は、そ の 重 要 性 を 鑑 み、連 結 の 業 績 見 通 し の み を 開 示 し、個 別 の 業 績 見 通 し に つ い て は 開 示 い た し ま せ ン。

本資料に記載されている当社グループの当期の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

## 平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年9月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東  
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部管掌 (氏名) 中澤 英一 TEL 03 (3553) 8885  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	13,247	—	857	—	762	—	393	—
25年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 417百万円 (-%) 25年12月期第2四半期 -100百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	48.23	—
25年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 平成25年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	13,896	1,765	11.3	191.78
25年12月期	12,273	1,147	9.4	140.58

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,565百万円 25年12月期 1,147百万円

(注) 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,091	31.6	1,833	195.6	1,750	69.2	910	579.1	108.75

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成26年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(816,500株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）L. A. Style株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	8,165,500株	25年12月期	8,165,500株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	－株	25年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	8,165,500株	25年12月期2Q	－株

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。

2. 当社は、平成26年8月8日付で普通株式1株につき700株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料のページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等の効果により、企業収益については緩やかな成長基調となりました。

外食業界におきましては、4月の消費増税の影響については危惧されていたものの、大幅な消費マインドの減退は見受けられませんでした。企業収益の改善による設備投資の増加に伴う建材費の高騰、及び人件費の高騰等が懸念され経営環境は一層厳しさを増しております。このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

主力業態となる「築地銀だこ」については、前連結会計年度から引き続き、たこ加工工程の見直し、新規加工ルートの開拓により安定した仕入を行うことができました。また、平成25年に完全子会社化した株式会社大釜屋の店内ボイルオペレーションを銀だこの一部の店舗に導入したことによって、原価率の低減を図ることができました。更に、SNSを利用した販売促進が奏功する中で、既存店の活性化施策として、立地特性に応じて宅配銀だこ・クロワッサンたい焼をコラボレーションさせることで、更に客層を広め売上を向上させることができました。

その他ブランドについては「銀だこスタイル」化を推進し、「COLD STONE CREAMERY」ブランドの「COLD STONE FROZEN BAR」をイオンモール幕張新都心店に出店しました。当該店舗は従来の規模から三分の一程度の小スペース・低コストでの出店を果たすことができました。「日本橋からり」においても、単品メニューに絞り込んだ専門店をイオン品川シーサイド店フードコート内に小スペースで出店することができました。「大釜屋」においては、西のフラッグシップと成り得るイオンモール和歌山店に出店を果たし、注目を集めることができるとともに、売上が堅調に推移いたしております。

海外展開については、「大釜屋」の自動たこ焼き機のノウハウを取り入れた結果、安定した「銀だこ」のオペレーションが確立され、当第2四半期連結累計期間にシンガポールの「SOLOMON SQUARE PTE. LTD.」、韓国の「STARLUXE Corporation」とエリアフランチャイズ契約を締結するに至りました。さらに、カンボジアにおいてGINDACO (CAMBODIA) CO., LTD. が最大のショッピングセンター（イオンモールプノンペン）に「築地銀だこ」「銀のあん」「やきとりのほっと屋」の3店舗を同時出店いたしました。

また、International Coffee & Tea, LLC (米国) と「The Coffee Bean & Tea Leaf」の店の運営に関するエリアフランチャイズ契約の基本合意を締結し、今後の事業を行うためにイオンモール株式会社と合弁でL.A. Style 株式会社を設立いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,247百万円、営業利益は857百万円、経常利益は762百万円、四半期純利益は393百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,622百万円増加し、13,896百万円となりました。これは主として、有形固定資産及び無形固定資産の増加によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,005百万円増加し、12,131百万円となりました。これは主として、短期借入金及び資産除去債務の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて617百万円増加し、1,765百万円となりました。これは主として、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の額及び少数株主持分が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは平成26年12月期において、これまでの銀だこを中心とした事業展開に加えて、COLD STONE CREAMERY、The Coffee Bean & Tea Leafといった新規事業を開始することでシナジーを発揮するビジネスモデルを目指しております。

国内事業においては、これらのブランドを「銀だこスタイル」化させて、首都圏においては個々のブランドを細分化させて立地特性に合わせた出店、地方においては1ショッピングセンターへの複数ブランドのコラボ出店を図って参ります。

海外事業においては、これまでの直営店単独展開から、直営による複数ブランドのコラボ出店、エリアフランチャイズ展開を加速させております。

また、当社の主要原材料であるたこについて、世界中で原料調達、加工、流通まで自社完結させる体制を構築させ、安定的で安価な原料調達を図っております。

こうした取り組みにより、平成26年12月期は、売上高27,091百万円（前事業年度比31.6%増）、営業利益1,833百万円（同195.6%増）、経常利益1,750百万円（同69.2%増）、当期純利益910百万円（同579.1%増）を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、L.A.Style株式会社については新規に設立したため連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,685,084	2,233,695
受取手形及び売掛金	1,856,949	1,245,130
たな卸資産	1,062,766	1,354,050
その他	540,797	738,621
貸倒引当金	△21,000	△11,200
流動資産合計	5,124,597	5,560,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,972,613	3,765,477
その他（純額）	1,105,106	1,157,053
有形固定資産合計	4,077,719	4,922,531
無形固定資産		
のれん	391,805	800,461
その他	133,013	209,089
無形固定資産合計	524,819	1,009,551
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,606,326	1,806,977
その他	952,889	606,323
貸倒引当金	△12,632	△9,207
投資その他の資産合計	2,546,583	2,404,093
固定資産合計	7,149,122	8,336,175
資産合計	12,273,720	13,896,473

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,783	864,908
短期借入金	2,286,426	2,915,085
1年内返済予定の長期借入金	988,392	1,138,788
資産除去債務	16,743	3,332
賞与引当金	42,812	67,987
その他	2,050,538	1,844,367
流動負債合計	6,122,696	6,834,469
固定負債		
長期借入金	4,325,375	4,369,818
資産除去債務	273,706	419,939
退職給付引当金	36,632	39,906
その他	367,417	467,116
固定負債合計	5,003,131	5,296,779
負債合計	11,125,828	12,131,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	827,750	827,750
資本剰余金	720,250	720,250
利益剰余金	△368,624	25,221
株主資本合計	1,179,375	1,573,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,510	1,848
為替換算調整勘定	△32,994	△9,127
その他の包括利益累計額合計	△31,483	△7,279
少数株主持分	-	199,283
純資産合計	1,147,891	1,765,224
負債純資産合計	12,273,720	13,896,473



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,247,960
売上原価	4,964,004
売上総利益	8,283,955
販売費及び一般管理費	7,426,178
営業利益	857,777
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,795
違約金収入	3,800
その他	13,715
営業外収益合計	19,310
営業外費用	
支払利息	26,615
為替差損	83,601
その他	3,896
営業外費用合計	114,114
経常利益	762,974
特別利益	
固定資産売却益	11,824
特別利益合計	11,824
特別損失	
固定資産除却損	31,800
店舗整理損失	75,059
子会社株式売却損	39,524
その他	10,561
特別損失合計	156,946
税金等調整前四半期純利益	617,852
法人税、住民税及び事業税	81,195
法人税等調整額	143,527
法人税等合計	224,723
少数株主損益調整前四半期純利益	393,128
少数株主損失(△)	△716
四半期純利益	393,845

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	393,128
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	337
為替換算調整勘定	23,866
その他の包括利益合計	24,203
四半期包括利益	417,332
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	418,049
少数株主に係る四半期包括利益	△716

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成26年1月1日  
至 平成26年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	617,852
減価償却費	553,683
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,224
受取利息及び受取配当金	△1,795
支払利息	26,615
売上債権の増減額 (△は増加)	688,693
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△273,443
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,672
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,175
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,274
為替差損益 (△は益)	184,846
固定資産除売却損益 (△は益)	19,976
子会社株式売却損益 (△は益)	39,524
その他の資産・負債の増減額	99,655
小計	1,953,160
利息及び配当金の受取額	1,795
利息の支払額	△26,615
法人税等の支払額	△253,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,674,509

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成26年1月1日  
至 平成26年6月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出	△43,174
有形固定資産の取得による支出	△855,807
無形固定資産の取得による支出	△31,875
資産除去債務の履行による支出	△38,725
貸付金の回収による収入	9,154
差入保証金の差入による支出	△158,226
差入保証金の回収による収入	118,737
投資有価証券の取得による支出	△30
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△554,859
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,461
関係会社の清算による収入	51,590

投資活動によるキャッシュ・フロー △1,504,676

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額 (△は減少)	554,300
長期借入れによる収入	750,000
長期借入金の返済による支出	△938,070
長期未払金の返済による支出	△6,198
リース債務の返済による支出	△34,191

財務活動によるキャッシュ・フロー 325,839

現金及び現金同等物に係る換算差額 △1,323

現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) 494,349

現金及び現金同等物の期首残高 1,274,767

現金及び現金同等物の四半期末残高 1,769,117

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。